



さんかく

女性と男性が共に支えあい、対等な立場で社会を形成することを願って!!

2006年2月15日

創刊号



2006年1月生(女の子)



2006年1月生(女の子)



2005年1月生(男の子)

**僕たち、私たちは
五所川原市で
誕生しました!**



2006年1月生(男の子)



2005年1月生(女の子)

男女共同参画情報紙『さんかく』は、旧五所川原市で発行してきましたが、昨年の3市町村合併を機に紙面を一新し、創刊号として新たに発行することになりました。

この情報紙を通して皆さんと一緒に男女共同参画を考え、活動し、五所川原市が住みやすくステキなまちになることが私たちの願いです。

男女共同参画ってなあに？

「男だから〇〇して当然」「女だから〇〇しなきゃ」
「男のくせに…」「女のくせに…」
と言われたり、言ったことはありませんか。



男女共同参画とは女性の地位向上のため
あるいは
「男らしさ」「女らしさ」をなくすのでは？
と考える人がいるでしょう。

でもそれは誤解です。



画一的に性差を否定したり、「男らしさ」「女らしさ」や
男女の区別を全てなくすことではありません。

女性が多い偏見や制約の下にいるように
男性にも「男は立派じゃダメ」
「男のくせにそんなこともできないのか」など、
多くのストレスを感じているのです。

だから
女性のためであると同時に
男性のためでもあるのです。

男女共同参画とは、性別にとらわれるのではなく、
それぞれの状況に応じて助けあうことで、お互いの
個性と能力を発揮し、共に責任を担うことです。

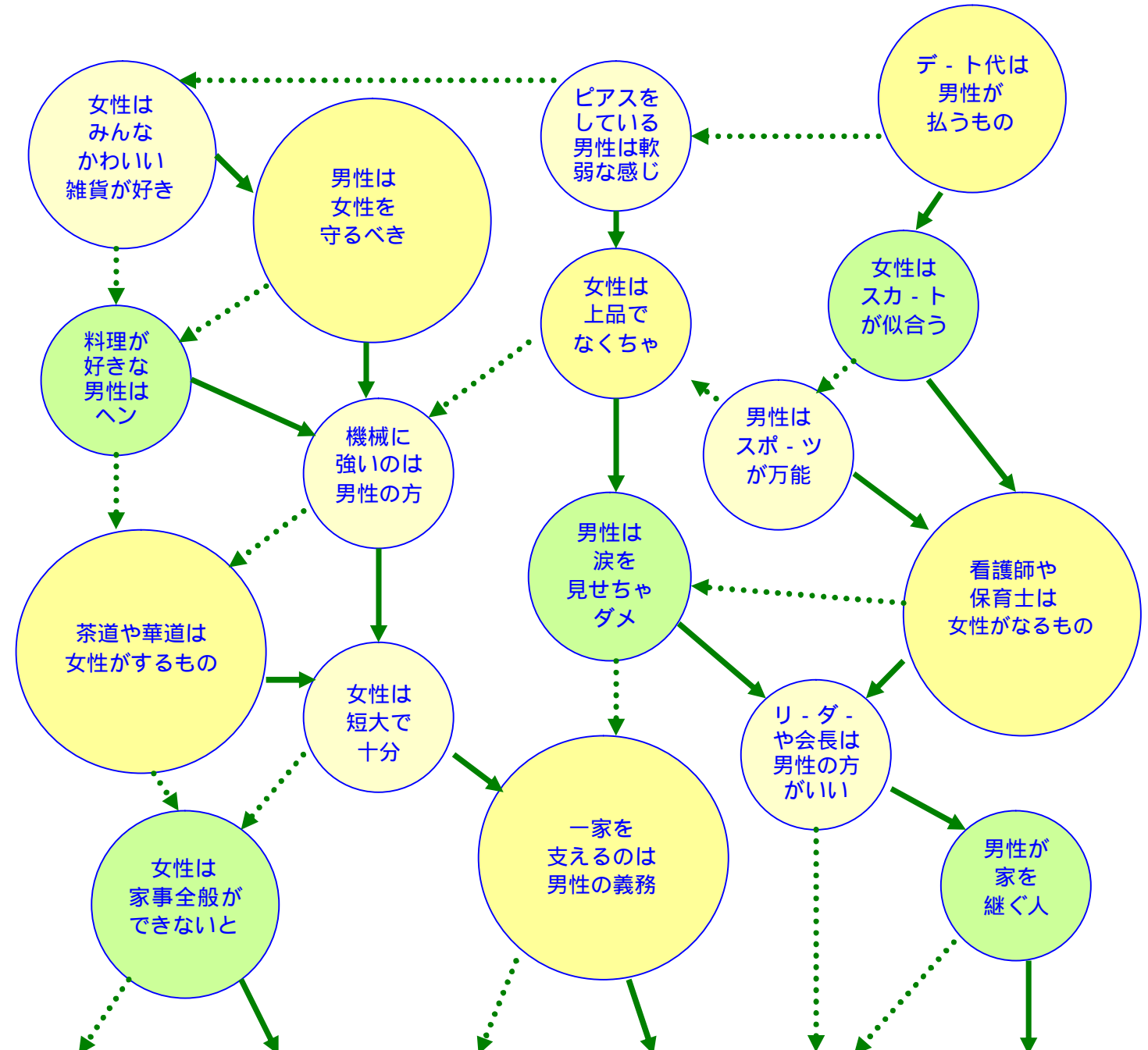


チェックしてみよう！

はい ←
いいえ ←……

いつの間にか無意識のうちにとらわれている「男らしさ、女らしさ」という偏ったイメージ。まずは、私たち自身が今どのくらい性別にとらわれているのかチェックしてみましょう。

スタート



自由に可能性を広げていこう
バランス感覚の優れたあなたは、のびのびと自分を表現し、ほかの人にも自由に生きることができているはず。あなたの一言や行動が、自由に生きることのできる社会に変えていく一歩になります。

あともう一息ありのままをもっと認めよう
女性と男性を入れ替えて表現するとヘンだなと思ったら、そこに固定観念が隠れています。男女の差ではなく一人の人間としてとらえることができれば大丈夫。

分かっているつもりでもまだ固定観念が
「男女の差別はしていない」つもりになっているだけかも。日常会話や態度が、差別につながっていることもありがち。すべての生き方を認めることが大切です。

いままでの価値観から脱皮しよう
「らしさ」を押しつけられて苦しんでいるのは、女性も男性も一緒。誰もが制限を受けることなく、あらゆる分野で活躍できる、そんな社会を目指しましょう。

型にはめず意識的に見直してみよう
学校や職場、家庭でも、男女のあり方を枠にはめていることは多いもの。アレ？と思う場面に出くわしたら、友達や家族などと、よく話し合ってみよう。

「らしさ」の先入観に気づくいいチャンス
「男だから」とか「女のくせに」といった考えにとらわれていませんか。一番マズイのは、それを本人が自覚していないこと。まず気づくことから始めましょう。

川柳

昨年十一月十五日号の広報「しよがわらで募集した川柳にご応募いただきありがとうございました。全ての作品を掲載できませんが、一部をご紹介します。

テーマ 日常生活の中の「私の言い分」

肩書きが とれて本当の 自分かな！

(五所川原市鎌谷町 今 将式さん)

「男は仕事」と、肩書きを背負い、窮屈な思いで一生懸命働いてきたけれど、退職し、しがらみがとれて、やっと自分らしくなれた。男は男で辛い…。

何食べる 一度くらいは 家事をして

(五所川原市幾島町 瓜田 さゆえさん)

「家事は女の仕事」と、性別で役割を決めつけられないで、一度くらいは手伝ってほしいな、家事は家族みんな、家庭作りは男女ともに！

助け合う 家庭円満 福の神

(五所川原市松島町 渡邊 緑さん)

お互いを思いやり、受け入れ、足りない所を補いあって、男女ともに対等なパートナーとして助け合いながら、個性と能力を発揮できている我が家です。

「くらしと科学」講演会

講師

(財)環境科学技術研究所 調査役・主任研究員

笹川澄子(薬学博士)

平成 17 年 10 月 21 日(金) 五所川原地域職業訓練センターにおいて、はつらつ虹の会主催で「くらしと科学」の講演会を開催した。

科学関係者や理数系は、男性が多く女性が少ない傾向にあり、女性と科学は結びつかないように思われるが、家庭生活の会話から「茶柱はなぜ立つのか」、毎日の通勤で気がついた「タンポポの茎はなぜ起きあがるのか」などを研究したのは女性である。男だから、女だからにとらわれず、日常生活の中で、興味を持ったことを知ることが科学につながるということを参加者達は学んだ。



はつらつ虹の会...平成 11 年五所川原市市政施行 45 周年の記念事業として女性模擬議会が開催されたのを機に結成。男女共同参画について学び、意識啓発のために活動している。

編 集 後 記

今回は合併後初の情報紙となりましたので「男女共同参画って何？」の疑問にお答えすべく編集してみました。この度初めてスタッフとして関わり、「チェックしてみよう」にトライしてみたところ、いつのまにか「男らしさ、女らしさ」の偏ったイメージにとらわれていた自分を発見してショック！今まで当たり前と思っていた自分の価値観が自分や身近な人の生き方を束縛することにつながっていたなんて…。自分の意識改革の必要性を感じました。

皆さんの結果はいかがでしたか？

ご感想やご意見をお寄せください。(プ-コ)

編集スタッフ

境谷 葉子・佐藤 広美
対馬 逸子・対馬 肇
津島 弘美・福士千恵子
三由 恵子

発行

五所川原市 男女共同参画室
〒037-8686 五所川原市字岩木町 12
TEL : 0173-35-2111 内線 462・463
FAX : 0173-35-3617
E-mail : danjo@goshogawara.
net.pref.aomori.jp